

潮位確認必須

① 潮位は季節により異なりますので、干潮だからといっていつでも同じだけ潮位が下がるわけではありません。太陽と月の動きに合わせて潮位は変動しますので、概ね春分の日から秋分の日までの間が、昼間に潮位が下がり、このコースを歩くのに最適な時期です。



※潮位は気象庁HPなどで必ず調べてください。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/suisan.php?str=MY>

② 高波時も注意が必要です。波は不規則に大きくなるタイミングがあります。遠くから打ち寄せて来る波の様子をよく観察し、何回か大きめの波が来ても、落ち着くタイミングがありますので、冷静に安全な通行を心がけてください。



※波高は天気予報サイトなどで確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/waveinf/tile/jp/index.html>

③ 一つの目安として、NPO 法人体験村・たのはたネットワークが現地調査を重ねた結果、潮位（潮位表基準面表示）30cm以下、波高1m以下の際に歩き通せる可能性が高くなります。ただし実際の自然現象は予報と合致しないこともありますので、現場で少しでも不安があれば、無理せず引き返してください。

隧道の紹介

① にわか磯隧道



白池海岸から波打ち際を南下してくると1本目、北上する場合は最後のトンネルです。北側出入口に潮だまりが出来やすいので注意して通行してください。

② にぎり隧道

隧道の中に大きな岩が入り込んでおり、乗り越えなければなりません。天井部からのしずくで湿っており、滑りやすいため注意して通行してください。



②にぎり隧道と③みひき場隧道の間は、大きな岩がゴロゴロしており、足場が悪いため通行には細心の注意をお願いします。



②にぎり隧道



③みひき場隧道

③ みひき場隧道



北側の出入り口が高く、海と空の抜けが良い写真が撮れます。人物のシルエットだけを残す等、思い出に残る写真を！！

③みひき場隧道と④ながおり隧道の間には、海蝕洞があります。ここも洞穴に入ってくる波と、外から差し込む光のコントラストが印象的な場所です。



④ ながおり隧道



隧道内に砂が広がっていて歩きやすく、5本の隧道の中では唯一南側の出入り口がそのまま砂浜に繋がっています。

⑤ 真木沢隧道

北側の出入り口は、波の状況により砂が減少してよじ登らなければならない場合があります。隧道内にも波が入り込む凹み部分があります。

